	科目名	基礎デザイン					年度	2024		
Ī	英語科目名	Creative Design Practice				学期	前期			
Ī	学科・学年	建築設計科 1年次	必/選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
	担当教員	丸山 尚子	教員の実務経験		有	実務経験の職種		建築設計		

【科目の目的】

- ・幾何学立体を観察し、形態を正しく描き、陰影や素材感をとらえてデッサンすることができる ・アクソメ図やアイソメ図、さらにパースについて理解し立体的に描くことができる ・美しく平面構成する方法を理解し、プレゼンテーションシートを平面構成することができる

【科目の概要】

形態・陰影・素材感をよく観察し、平面上に正確にデッサンする技術を習得する 立体的な建築空間を表現する際に用いられるアクソメ図、アイソメ図の描き方を習得する 建築・インテリアの空間のポイントをとらえ、1消点および2消点のパースの描き方を習得する

【到達目標】

- A. 形態・陰影・素材感を観察し、正確にデッサンできる B. アクソメ図、アイソメ図を理解し描くことができる
- C. 1消点および2消点のパースを理解し描くことができる

【授業の注意点】

評価は出席状況や提出状況と成果物をルーブリックにもとづいて行い、講評会においても評価を行う。 学生による自己評価及び相互評価も実施し、評価に勘案する。

	評価基準=ルーブリック								
ルーブリック	レベル 3	レベル2	レベル 1						
評価	優れている	ふつう	要努力						
到達目標 A	鋭い観察眼から形態を正確にとら え、ハッチングで陰影や素材感を精 緻にデッサンすることができる	形態をとらえるように努力し、ハッチング で陰影や素材感をデッサンすることができ る							
到達目標 B	アクソメ図、アイソメ図で縮尺を定めた精緻な立体図を描くことができる	アクソメ図、アイソメ図で縮尺を定めた立 体図を描くことができる	アクソメ図、アイソメ図を理解して おらず、描くことができていない						
到達目標 C	1 消点や2 消点のパースで、空間のポイントを理解しつつ、魅力的な空間を描くことができる	遠近法を理解し1消点や2消点のパースで、空間を描くことができる	遠近法を理解しておらず、1消点や 2消点のパースを描くことができて いない						

【教科書】

『図形ドリル 平面・立体表現の基礎を学ぶ』学芸出版社

【参考資料】

資料プリント

【成績の評価方法・評価基準】

授業への取り組み姿勢、出席状況、成果品とプレゼンテーション等で評価する

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		基礎デザイン				20	2024	
英語表記		Creative Design Practice				前	前期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	各授業の目的 授業内容 到達目標=修得するスキル			評価方法	自己評価	
	科目概要説明 第一課題 タングラム	科目の目的・内容を理 解する	1 科目概要 科目の目的・内容を理解している					
1			2 授業方法	他科目との関連や授業実施方法を理解している				
		形を構成し作る	3 タングラム	ム 7種類のピースを構成し目標となる形をつくる				
	第二課題 ・立方体の デッサン	立方体を観察しデッサンを描く	1 フォーム 面をハッチングしながらアタリをとる					
2			2 マテリアル ハッチングを重ね面の暗さと素材感を表現する			2		
			3 シャドウ	光源の位置から生まれる机上の影を描く				
	第三課題 円柱の デッサン	円柱を観察しデッサンを描く	1 フォーム	面をハッチングしながらアタリをとる				
3			2マテリアル	ハッチングを重ね面の暗さと素材感を表現する		2		
			3 シャドウ	光源の位置から生まれる机上の影を描く				
	第四課題 1 円錐の デッサン	円錐を観察しデッサンを描く	1 フォーム	面をハッチングしながらアタリをとる				
4			2マテリアル	ハッチングを重ね面の暗さと素材感を表現する		2		
			3 シャドウ	光源の位置から生まれる机上の影を描く				
	第五課題 球体の デッサン	球体を観察しデッサンを描く	1 フォーム	面をハッチングしながらアタリをとる				
5			2マテリアル	ハッチングを重ね面の暗さと素材感を表現する		2		
			3 シャドウ	光源の位置から生まれる机上の影を描く				
6	第六課題 - 「陽の家」の アクソメ図	「陽の家」を アクソメ図で描く	1 平面図	平面図を60度と30度に傾けて下描きする				
U			2 壁・建具	壁・建具を寸法通り立ち上げて描く	描く			
7			1 設備	設備を寸法通り立ち上げて描く		2		
•			2 造作・家具	造作・家具を寸法通り立ち上げて描く				
8		「陽の家」を アイソメ図で描く	1 平面図	平面図を左右とも30度傾けて下描きする		2		
	第七課題 「陽の家」の アイソメ図		2 壁・建具	壁・建具を寸法通り立ち上げて描く	<			
9			1 設備	設備を寸法通り立ち上げて描く				
			2 造作・家具	造作・家具を寸法通り立ち上げて描く		Ļ		
	第八課題 0 建築パース (1消点図法)	名作建築①のパースス ケッチを描く	1 透視図の解説	1 消点の透視図の仕組みや描き方を理解する				
10			2 名作建築①の解説	名作建築①の動画を鑑賞し、ポイントを理解す	る	2		
			3 パース	地平線と消点をとらえ名作建築のパースを描く				
	第九課題 1 建築パース (2消点図法)	ース 名作建築②のハースス ケッチを描く	1 透視図の解説	2 消点の透視図の仕組みや描き方を理解する				
11			2 名作建築①の解説	名作建築①の動画を鑑賞し、ポイントを理解す	<u>る</u>	2		
			3 パース	地平線と消点をとらえ名作建築のパースを描く		<u> </u>		
	3 第十課題 建築の旅 4	名作建築①を訪ね写真 を撮りスケッチを描く _	1 建築選び	名作建築①を選び設計者とポイントを調査する				
12			2 建築訪問	名作建築①を実際に訪問し内部空間も見学する		2		
			3 写真とスケッチ	現地で建築写真を撮り、スケッチを描く		<u> </u>		
		名作建築②を訪ね写真 を撮りスケッチを描く 名作建築③を訪ね写真 を撮りスケッチを描く	1 建築選び	名作建築②を選び設計者とポイントを調査する		-		
13			2 建築訪問	名作建築②を実際に訪問し内部空間も見学する		2		
			3 写真とスケッチ	現地で建築写真を撮り、スケッチを描く		<u> </u>	igspace	
			1 建築選び	名作建築③を選び設計者とポイントを調査する		4		
14			2 建築訪問	名作建築③を実際に訪問し内部空間も見学する		2		
			3 写真とスケッチ	現地で建築写真を撮り、スケッチを描く		<u> </u>	<u> </u>	
		名作建築④を訪ね写真 を撮りスケッチを描く 、2. パフォーマンス評価、	1 建築選び	名作建築④を選び設計者とポイントを調査する		_		
15			2 建築訪問	名作建築④を実際に訪問し内部空間も見学する		2		
			3 写真とスケッチ	現地で建築写真を撮り、スケッチを描く		<u></u>		

評価方法:1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価:S:とてもよくできた、A:よくできた、B:できた、C:少しできなかった、D:まったくできなかった

備考 等